

～住み慣れた地域で、 自分らしい生活をするために～



生活支援体制整備事業

生活支援体制整備事業は、住み慣れた地域で元気に暮らし続けられるように、お互いが支えあう地域づくりを目指す事業です。生活支援コーディネーターが地域に出向き、次のような活動を始めています。

生活支援コーディネーター活動内容

- ①地域の集まりに出かけ、皆さんからお話を聞かせていただく。
- ②今地域の中にあるもの、今後の少子高齢化に向けて、あったら良いものを考える。
(生活支援サービスの充実)
- ③支え手を増やす働きかけを行う。(ささえあい活動の推進)
- ④社会参加を促進することで、介護予防につなげる。(健康寿命の延伸)
- ⑤地域の中で、困りごとや、やりたいことが出てきたら、一緒に考える。

生活支援コーディネーターが皆さんとお話しする中で、「地域の中の困りごと」「地域の中にあっというものの」「地域や健康のためにやってみたいこと」などが出てきたときは、他の地域での取り組みなどをお伝えしたり、つなぐ先を考えたり、やりたいことが形になるように応援していきます。



▲シルバーサロン
「高松一色爺ちゃん婆ちゃんよっといでん」での様子



▲生活支援コーディネーター



生活支援コーディネーター

- 田原福祉センター ☎23-0610(和田・村松)
- 赤羽根福祉センター ☎45-3611(藤井)
- あつみライフランド ☎34-6630(青山)